

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	姫路農産流通センター新加工センター	階数	地上1F
建設地	兵庫県姫路市	構造	S造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	90人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,300時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2021年6月12日
敷地面積	6,411 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	3,042 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,977 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 太陽光発電パネルを屋根全面に設置して自然エネルギーの利用すること、高効率設備を採用することで、省エネルギー化に配慮した。		<b>その他</b> 農産物を取り扱う生産エリアには、衛生面に配慮して、ゾーニング空調が可能で高効率中温用ツインマルチエアコンを設置した。
<b>Q1 室内環境</b> 内装仕上げは全面的にF☆☆☆☆を使用。換気扇は全熱交換器を採用。生産エリアとの界壁に遮音性能を持たせた。	<b>Q2 サービス性能</b> 事務室の広さと天井高さを確保。大スパン架構が可能なシステム建築を採用し、空間の自由さにゆとりを持たせた。十分な天井裏スペースが取ることで、設備の更新制に配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 威圧的な外観にならないように、建物形状、外壁の色彩などを配慮した。グラスパーキングを採用し、緑地を確保した。
<b>LR1 エネルギー</b> 屋根全面に太陽光発電パネル(363kW)を設置し、自然エネルギーの利用に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 自動水洗、節水型便器を採用し水資源保護に配慮した。躯体と仕上げ材が容易に分別可能な乾式工法を採用した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 燃焼機器を使用せず大気汚染防止に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される